

「(仮称) 大久保地区公共施設再生基本構想」の策定について

習志野市公共施設再生計画の第 1 期（平成 26 年度～平成 31 年度）事業である大久保地区公共施設再生事業に関する「(仮称) 大久保地区公共施設再生基本構想(案)」について、パブリックコメントの結果を受け、基本構想を策定しました。

1. パブリックコメントの実施結果

(1) 実施期間

平成 27 年 3 月 26 日（木）から平成 27 年 4 月 24 日（金）まで

(2) 意見等提出人数・件数

31 人 123 件

(3) パブリックコメントによる主な修正点

今回のパブリックコメントでは、基本構想(案)の内容ではなく、公共施設再生計画の是非や市民説明、手続き等に関する意見、あるいは基本構想段階ではなく、基本計画、設計段階の意見が多く、結果として主な修正点は、以下の 6 点としました。その他、若干の文言整理を行いました。

① P1_「I. 大久保地区公共施設再生事業の基本理念」中、次の下線部を追記。

「財源確保と財政負担軽減を念頭に、その施設跡の利活用について、今後市民の皆様と検討していきます。」

あわせて、P24_「VI. 基本構想の実現に向けて」に、次のとおり追記。

「(4) 財源確保と財政負担軽減

本事業を含む公共施設再生事業の実現にあたっては、財源確保及び財政負担の削減が重要です。本事業における機能集約対象施設については、地域移管、民間機能の誘致（条件付き売却もしくは貸付）、条件なし売却もしくは貸付、あるいはこれらを複合した選択肢が考えられる中で、その施設跡の利活用を市民の皆様と検討していきます。」

② P4_「(2) 市の中心館として施設の機能向上を図る」_「③」中、次のとおり変更。

「35 万冊の蔵書数を目指す」

⇒「蔵書数の大幅な増加及び蔵書の質的向上を目指す」

あわせて脚注に次のとおり追記。

「千葉県内の公立図書館の平均である人口一人当たり約 3 冊の蔵書を確保するために、市立図書館全体での蔵書冊数を 55 万冊程度とし、そこから既存の東習志野、新習志野、谷津図書館の蔵書数約 20 万冊を差引き、35 万冊を本市の中央図書館機能を担うに適切な蔵書数としての目標とします。なお、今後、設計等施設の具現化に伴い、変更する場合があります。」

③ P4_「(4) 財政負担の少ない効率的な整備・運営」について、脚注に次のとおり追記。

「従来の市が直接実施する方式と比べて総事業費をどれだけ削減できるかを、客観的数値において比較するため、財政負担の軽減が見込まれます。」

④ P8_「(6) 民間活力導入の基本的な考え方」中、次のとおり変更。

「収益が得られれば良いという発想ではなく、公共施設で実施するサービスであり、」
⇒ 「公共施設内で実施するのに相応しいサービスとし、」

⑤ P8_「(6) 民間活力導入の基本的な考え方」_「【収益事業導入の考え方】」中、次のとおり変更。

「3. 駅周辺並びに商店街の商業機能と競合しない業種の導入。」
⇒ 「3. 駅周辺並びに商店街と共存共栄し、地域の魅力を高める業種を導入。」

⑥ P11_「(1) 公園内小径（こみち）の演出」中、冒頭に次のとおり追記。

「公園は各施設を結ぶ、市民の憩いの庭として演出し、また、」

(4) これまでの手続と今後の予定

- ⇒ 平成 27 年 5 月 11 日（月）：庁議
- ⇒ // 5 月 25 日（月）：市ホームページ等にて公表
- ⇒ // 5 月 29 日（金）：記者会見にて発表。

2. 大久保地区公共施設再生事業に関する本年度の取組み

本年度は、平成 28 年度の事業者募集及び決定に向けて、

- ①基本計画の作成
- ②募集要項、要求水準書等の検討
- ③境界測量・地質調査の実施
- ④平成 28 年度当初予算に計上する事業費の積算

以上 4 点を中心に、第三者機関での審議、委託をしつつ検討、整理します。

なお、集約対象施設については、利活用方針を関係者と共にワークショップを実施し検討します。

〈問合せ〉
財政部資産管理室資産管理課
吉川、岡田、早川
電話：047-453-9308（直通）